

「女性視点の防災ブック」編集・検討委員会

(第8回)

議 事 録

平成29年12月12日（火）

第一本庁舎9階B会議室

午前10時00分開会

○池上委員長 みなさまおはようございます。それでは、定刻になりましたので、ただいまから第8回「女性視点の防災ブック編集・検討委員会」を開催いたします。

委員会を進めるに当たりまして、諸注意を申し上げます。

本会は非公開で実施いたします。資料につきましても非公開とさせていただきますので、情報管理をよろしく願いいたします。ただし、資料と議事録については後日公開される予定ですので、その点御注意ください。

なお、この委員会は女性視点の防災ブック編集に関して助言を行うもので、いただいた御意見が全て反映できないこともあるので、その旨どうぞ御了承いただきたいと思います。

それでは、本日の進行について、事務局より御説明をお願いいたします。

○事務局 よろしく申し上げます。

このあと委員の皆さまには、お配りしております原稿案を1章から通してご一読いただきたいと思っております。今日は、新たな防災対策とか掲載内容を追記するという観点ではなく、誤りとか誤解を招くような表現、イラストがないかという観点で、赤字、見え消しでメモ書きをしてご指摘をいただきたいと考えております。原稿案につきましては、これまで委員会で皆さまより色々いただいたご意見、また都の関係各局のチェック等をふまえて修正をしております。

また、イラストにつきましては、一部ラフ段階のものがございますことをご承知おきください。申し訳ございません。本日のご指摘をふまえて最終版に仕上げたいと考えております。

本日改めて本の構成について、お手元にお配りしているこの原稿に基づきましてご説明いたします。まず2枚おめくりいただけますでしょうか。4ページ目です。本の最初に、導入文ということで、「はじめに」ということで掲載しております。1枚おめくり頂きまして6ページから8ページまでが目次。9ページにキャラクターの紹介。10ページから巻頭企画「今すぐできる15のこと」と続いております。巻頭企画につきましては以前の委員会でご確認いただきました内容、項目を15個掲載しております。それぞれ関係する中面のページに誘導するという形にしております。巻頭企画が終わりまして、17ページから第1章、かなり飛んでいただきまして、95ページからが第2章、121ページからが第3章という形で構成をしております。本の1番後ろに奥付とシールと続いております。奥付につきましては事前に委員の皆さまに確認していただいたとおり、ご協力いただいた皆さまのお名前を掲載したいというように考えております。本日これまでと異なりまして、皆さまに読んでいただいた原稿については随時回収というようにはせず、委員会終了後にまとめて回収をさせていただきたいと考えております。

事務局からの説明は以上になります。

○池上委員長 ありがとうございます。本日は原稿を読んだあとに事務局からの質問の時間はございませんので、原稿に赤字を入れる際には後日事務局が見て主旨がわかるよう

に、なるべく具体的に書いていただきますようお願いいたします。皆さまよりいただいたご意見をとりまとめた上、事務局には原稿の最終調整をお願い致します。私が確認させていただきますのでご了承いただきたいと思います。

それでは、これより11時10分まで、足りなければ延長ということで考えていただきますが、原稿を御確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(原稿確認)

○池上委員長 それでは、時間になりましたのでここまでとさせていただきます。原稿についてはそのまま置いていただければ後程事務局の方で回収いたしますのでよろしくお願いいたします。原稿の内容については以上です。

今後のスケジュールについて、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局 資料の2「女性視点の防災ブック今後のスケジュール(予定)」をご覧ください。今後のスケジュールですが、12月の末までに原稿の最終調整を致します。あわせて視覚障害者の方も確認できるよう、冊子の左下にあります音声コードに内容を変換していく作業をあわせて年内までに進めて参りたいと思います。年明け1月から印刷製本の作業に入らせていただきます。

2月頃を目途にブックの完成や設置する場所等についてのプレス発表を予定しております。発表の際には委員の皆さまにもご連絡させていただきたいと思います。

2月下旬からママ向けのフリーペーパー、女性誌、映画館、SNS、あるいは電車内のデジタルサイネージ等の色々な媒体を活用し、広報を展開していきたいと考えております。

また、都民の皆さまが自らブックを手にとってもらうということが防災対策の第一歩ではないかなと考えていますので、3月に都民の皆さまが手に取れるように、都立、区市町村の施設はもちろん、郵便局や美容院などにご協力いただいて、都内の各事業者の色々な店舗の店頭等に設置をしていきたいと考えております。あわせて電子書籍での配信、多言語版の配信、点字版や音声版、色々な方が手に取れるような対応をしていきたいと考えております。もちろんブックが出来上がりましたら委員の皆さまにも郵送させていただきたいと思います。

なお、これまで開催をしてきました委員会の議事録につきましては、本が完成したあと3月頃を目途に公表したいと考えております。また、委員の皆さまのご発言の内容のご確認等で御協力いただくかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願い致します。以上が今後のスケジュールになります。私からは以上です。

○池上委員長 はい。ありがとうございます。ただいまの今後のスケジュールについて何かご質問はありますか。

○国崎委員 設置場所がありますが、それはいつまで店頭に置くのでしょうか。

○事務局 協力していただける事業者については、3月、4月、5月を今のところ目途に

考えています。当然その後も区市町村の施設や都立施設等では継続して設置したいと考えています。

○池上委員長 ほかにございますか。

○富川委員 多言語版は何言語ですか。

○事務局 英・中・韓を予定しています。冊子の印刷までは物理的に間に合わないかもしれないがホームページでの閲覧については年度内にやりたいと考えています。今回縦の本なので、英語版等は横にレイアウトを全部組みなおします。

○池上委員長 他になにかご質問はありますか。

○事務局 あとは、3月の同じ時期に東京都の公式のアプリの作成を予定してまして、「東京防災」の内容はもちろん、今回の女性視点の防災ブックにつきましても内容を紹介するようなコンテンツというのを盛り込む予定です。また、災害時にも使えるようなマップの機能や情報発信、プッシュ通知のような機能も盛り込んだアプリの作成を進めております。また3月頃ご案内させていただければと思います。

○池上委員長 ありがとうございます。せっかくその便利なアプリができたなら、私たちが使いこなせるようにしないと。他になにかございますか。

○富川委員 この防災ブックがどういう受け止め方をされたかという、フィードバックはあるのですか。

○事務局 定期的に世論調査はやっていますので、今回の女性視点の防災ブックをどう受け止めたかというのも調査項目に入れることも検討していきたいなと思います。

あとは色々な問い合わせなどで都民からの反応というのも色々寄せられますので、そこはある程度まとまった段階で皆さんにもお知らせをしたいと思います。

○池上委員長 あるいは私たちに何か反響があったときには都にお知らせした方がよろしいでしょうか。

○事務局 いただければ幸いです。

○国崎委員 さらにもう1点、出版記念という訳ではないですが、来年度でも良いですが、防災に関心のある方々が集まるシンポジウムが開催されたらいいなという風に思っております。その点に関してはいかがでしょうか。

○事務局 今もう一つ、ブックの作成とともに、女性視点からの人材育成の検討会を行っております。その人材育成も含めて3月にイベントをやる予定でいます。リーダー育成もやっていますので、そこのラインとも相談していきたいと思います。そちらはセミナーもやっていますので相談を、という風に思います。

○池上委員長 特に女性の、人材育成ということですか。

○事務局 そうですね。女性リーダーの育成です。今年度は、どういったことを皆さんにお伝えするのがいいのかというカリキュラムを検討しています。

○田中委員 私たちがこれに携わったことはもうリリースが出ているかと思いますが、私たちはどこまで、いつ言っているのか、内容はダメだと思うがその度合いが分からない。

○事務局 一応、内容についての公表は2月を予定しておりますので、中身についてのご発言はそれ以降にさせていただけるとありがたいです。

また、議事要旨についてはホームページに掲載しておりますので、恐縮ですがその範囲内でお願いできればと思います。

○池上委員長 他によろしいでしょうか。

○富川委員 設置場所というのは決まった時点で教えていただけますか。

○事務局 こういったところで手に入ります、ということをご案内します。

○池上委員長 この発行部数は。

○事務局 100万部です。もし幸い足りなくなれば、増刷します。まずこの部数、ということで。25冊を1箱に入れて、そのまま箱にデザインをし、ご自由にお取りください、というようなポップが付いた箱でお配りをする。各店舗にあまりご負担にならないようにお配りする予定です。

目立つのと、手間がかからないので、そういった形で皆さまに御協力をお願いしているところです。

○池上委員長 他になにかありますか。それでは、本日の委員会で最後となりますので、皆さま今後の展開やブックの活用について、これまでの感想も含めて一言ずつお願いします。

○五十嵐委員 ありがとうございます。

今回は色々な世代の方と、今までであったことのない領域の皆さまと防災について色々な意見交換をできたということは私にとってすごく学びだったなと思います。防災という内容に関して話し合ってきましたが、分かりやすく伝えていくとか、どのように浸透させていくのかということを考えてくれたことは、教育ということにも結び付きますので、ここで学んだことは今後教育というところにも生かしていけたらなという風に思います。

この本はすごく愛着のあるものなので、学生を中心にできるだけ宣伝し、防災について意識づけの活動ができるように頑張っていきたいと思います。

○国崎委員 「東京防災」もそうですが、こちらの女性視点の防災ブックにも関わらせていただいたことに深く感謝いたします。委員として呼んでいただきありがとうございます。おかげ様で、ずっと名前は存じていたがお会いする機会がなかった方ともお会いできて、ともに女性で防災に関わってきた方とお話する機会、しかも同じ女性でも多様な視点があるといった中で私自身も色々学ばせていただきました。

「東京防災」は、1つには防災力の向上ということがありますので、これが出来ておしまいではなく、どうアクションを起こすのかというところまで私自身も出来るところをやっていきたくと改めて思います。

○富川委員 ありがとうございます。このような機会を与えてくださったことに感謝しています。

私自身この委員会は自分にとっての勉強の場でもあったので、今後の活動に生かせるこ

とも多かったと思います。この本に関しては、最初の段階でどうなることやらとドキドキしながら関わってきましたが最終的にイラストも楽しい内容で作ってくださったなと思いますし、デザイナーや編集の方も本当にありがとうございました。よくここまでまとめてくださったなと思いますので、これが少しでも役に立てればと思います。

これで終わらずに、どうやって活用していくかというところも考えていきたいので、今後とも宜しくお願いいたします。

○田中委員 まだほとんど防災をやっていない私がここに入っているのかとすごく思っていたのですが、だからこそ防災に全く興味が無い立場としていえることを言わせていただけて、私自身も楽しみながら関わらせていただけました。

悔しいところでいくと、もっと制作に携わりたかったところがあり、意見を言うだけだったので自分の中で責任感が得られないまま完成までいってしまうのが、悔しくて悲しいなという気持ちが最後までありました。

でも、沢山の方の意見を集めてここまで作った東京都の皆さんはすごく大変なお仕事だったと思うので、みなさんが作られたものを私も若者向けに宣伝していきたいと思っています。ありがとうございました。

○池上委員長 今日は中島さんがご欠席で、すごく力を入れていただいたが残念ですが、中島さんがいたおかげで編集が進んだかと思います。私たちも助かりました。

最初にこの委員のメンバーを見た時に、年代がばらばら、20代がおひとり、30代がお二人、40代がお二人、50代60代がいなくて、70代、だったので、20～40代の方の意見が私にとっては新鮮でした。私の仲間ではこういった冊子は出来なかったと思います。従来あるような、上から目線のかたい本ができてしまったのではないかと思います。ですから、本当に皆さんがいたおかげですごくいいものができた。

私は防災の仕事をしているので、防災の仲間が色々言ってきたので始まる前はすごくプレッシャーで、すごい責任があるなという思いもあったが、私自身すごく勉強させて頂けてよかったです。皆様からいただいた意見もかなり反映されていて、関わってきた意義もあると思います。人のつながりも大事にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

○事務局 事務局を代表してご挨拶させていただきます。

池上委員長をはじめ、委員の皆さまにはご多忙のところご出席いただきありがとうございます。皆様にはそれぞれのご専門、ご経験を踏まえて意見を頂戴いたしました。申し訳ありませんがすべてを反映できたわけではございませんが、最終版については池上委員長に確認いただきながら進めさせていただきたいと思っています。

東京都は街づくりのハードからこういったソフトまで様々な災害対策をやっております。ただ、災害の被害を最小限にするには行政の力だけではなく一人ひとりが備えをすることが大事だと思っています。今回アンケートを取り、最初のページに載せていますが、具体的に何をしたらいいか分からないというご意見がありました。防災対策は行

政としても個人としても終わりが無いと考えておりますが、まずは始めていただくことが大事だと思います。この「東京くらし防災」は行政としても新しい試みですが、多くの都民の方に新しいスタートを切ってもらえるような役割を少しでも担えれば、良い本になったと思えるのだと考えています。

委員会は8回ほど開催させていただきました、当初の予定より多かったです、皆さま色々なご意見をいただきありがとうございました。こちらでも広報や展開、設置に向けて努力して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。本当にありがとうございました。

○池上委員長 それではこれで第8回女性ブックの編集・検討委員会を閉会といたします。本当にみなさまありがとうございました。

午前11時30分閉会